

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 172 号 2012. 8. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

TOREK 自然農法 夏季農産展

8月3日(金)農産展 販売日は大賑わいでした。

今回、18店中2組の初出店がありました。青年の生産グループ弥生会と、お米作りをしている萩原善啓さんです。萩原さん「コシヒカリ 50袋、モチ米 18袋を販売しました。あつという間でしたが、とても楽しく清々しい時間でした。この販売に至るまでの4年間、家族をはじめたくさんの方のサポートやアドバイスがあり、感謝でいっぱいです。自宅での精米で大変なこともありましたが、お米おいしかったよ、と声をかけていただくと全てが喜びに変わりました。これからもがんばっていただきたいと思えます。応援しています！



8月19日(日)展示日、出品者84名、出品数446、品種79。この日も暑い日で、まず、冷たい自然農法のほうじ茶のサービスを頂き、パワーをつけて見学開始です。

今回、生産者の思いを伝える規定のメッセージ欄のほかに、オリジナルの写真つきボードを展示品の横に置く方も増えてきて、皆さんの自然農法への取り組み、情熱が、より分かりやすく伝わってきたと思えました。

奥に進むと、小林はな子さんの「世に知らせる農園」のコーナーがありました。自家採種を続けたニラやニンニクは臭みがなく、ほのかに香る感じです。「ニラが嫌いな子供でも知らずにぺろりと食べてしまうのよ」とのこと。ニンニクをひとかけ頂いて、植えてみることにしました。試食も夏野菜をいろいろ頂き、暑さを乗り越えられそうです。(編集部)

自然農法をさせていただいて

長野県 竹内節子



堀さん、高沢さんとの出会いから自然農法に取り組み 8年目になります。最初はナス 10本からの出発でしたが、今では 25アール全作物を自然農法にしています。慣行農法に比べて量が取れないので、本数を多くして補っています。

また、より安全な作物を提供するためには自家採種も大切と教えていただき、豆類をはじめ 23種類を自家採種しています。今年はキュウリに取り組みました。昨年採種した一年目の種から試験的に 10本を植えてみました。種まきが遅かったためか、少ししか取れませんでした。「召し上がった方が、おいしかったと言っていた」とお聞きし、やってみてよかったです。来年も続けてみようと思ひ、3本の樹からそれぞれ最初についた実(もとなり)を大きく育てて種をとりました。固定種ではないので、味や形がどう変化するのか、病気が出ないかなど心配な点もあるのですが、楽しみでもあります。

トマトは市販の苗なのですが、「お店のものとは違い、しっかりしていて、甘くておいしい」と言ってお聞きし、うれしい限りです。自然農法ゆえの美味しさであるとともに、樹で赤くなるまで育てていることもあると思っています。

今年は雨がすくなく、赤ジロやミョウガの成育が悪かったのですが、先日まとまった雨が降りましたので、キャベツの苗を植えられそうです。神様に雨が降りますようお願いしていましたので、恵みの雨と感謝しました。これからも皆様に喜んでいただけるよう、取り組ませていただきます。

※自家採種と市販種のキュウリ(どちらも自然農法栽培)を食べ比べた方から、「自家採種のほうが味がすっきりし、雑味がない」「味がクリアだ」「オーラが違う」「実のつき方に無駄がない」などの感想を頂いています。



竹内さんの農産展展示

北海道 尾針農園だより 尾針真智子

畑がすっかり秋の収穫に向けて変化してきました。春先からのかんばつと霜で、玉ネギもカボチャも葉の一部が枯れ、一時は6月に移植したときより縮んだように見えていましたが、7月5日の恵みの雨で復活して、ぐんと成長して、喜びました。

しかしその後また雨が降らない日々が続く、畑にひび割れが入ってしまいました。このままでは収穫できないかもしれ



れないと不安な気持ちで、毎日畑を見て、土や作物に声をかけました。するとなんと7月31日に、すっかり畑にしみこむ雨が降り、その後素晴らしい早さで生育し、実が膨らんでいきました。8月10日あたりからは、玉ネギの茎が倒れはじめ、大きさは畑の場所によって差がありますが、よくぞここまでできてくれたと感謝しました。

カボチャも大きい物は20センチはあります。色付きにムラが出ないように、ひとつずつ台にのせました。秋が楽しみです。今後の雨で傷まなかった場合は、昨年より多く収穫できるかもしれません。

今年も例年通り宅配等で、個人向けの作物の注文を受けたいと思います！



北陸生産者との交流

TOREK 自然農法普及員 野中康次

8月5、6日、私と町田さんの2名で、福井県富田さんの援農、そして石川県よしたい農園と山下農園の見学に行きました。頒布会や学生会の子供たちにお米を提供してくれた富田さんや、頒布会に糶を持って販売に来てくれた森さんの生産現場の北陸です。

昨年は援農の計画を立てるも、生産者と予定が合わずに、流れてしまいました。今年は「行くぞ」と町田さんは有休をセット。もう少し往復に余裕が欲しかったのですが、予定が定まり、4日22時、東中野出発、翌5日9時、福井は池田町の富田さんの田んぼに到着しました。

だいふ山を登り、標高およそ400メートル、汚れなき山の水の中山間地です。標高が高いと、温度、水温、日照時間など条件が悪くなりますが、その中で富田さんはお米を苗から無施肥無農薬栽培で作り続けています。

富田さんは既に除草作業中でした。我々も早速準備して、挨拶程々に、人力で除草に入りました。暑さはこの日少し控えめで、とても助かりましたが、良い汗をたくさんかきました。日陰で昼食と、お話と、うたた寝し、午後からまたがんばりました。我々のできた除草は何百分の1でしたが、富田さんはTOREKメンバーと交流し、生産者として喜んでくれていました。また町田さんの「共に作業して汗をかき、富田さんは、普段こういう条件の中で取り組んでいることを感じられ良かった。若い人に来て感じてほしい」との言葉に、次回の北陸援農の姿を予感しました。

翌6日、石川県は短時間ですが、頒布会でなじみの森さんも田んぼを案内してくださり、見学しながら色々お話をできました。山下さんの田んぼも見学のみできました。

生産現場とTOREKメンバーの志は同じですが、交流の場を持ち、お互いの心が繋がっているTOREK自然農法活動を目指したいと、今回さらに思いました。



富田さん(左)と町田さん

お知らせ

自然農法勉強会 8月29日(水) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~ (別院講堂)
自然農法頒布会 9月26日(水) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売り切れ次第終了)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

9月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ: 煎茶、ほうじ茶、みかんジュース(ビン入り・コップ)
- きじま平自然農産: キュウリ、青豆納豆、ピリ辛糬、きじま弁当 ● 長柄山自然農園: 卵
- ジョリフィーユ: ルバーブのチーズタルト、みかんジュースゼリー、マドレーヌ ほか
- 中島農園: 枝豆、ジャガイモ、プラム、カボチャ、梅干 ● 富田善嗣・よしたい農園: 白米、モチ米

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>